



TITLE:

<日誌・業績>高等教育研究開発推進センター 日誌・組織・教員業績  
(2015年4月1日-2016年3月31日)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

<日誌・業績>高等教育研究開発推進センター 日誌・組織・教員業績  
(2015年4月1日-2016年3月31日). 京都大学高等教育研究 2016, 22: 163-198

ISSUE DATE:

2016-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/219536>

RIGHT:

# 高等教育研究開発推進センター日誌

(2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日)

年 月 日	記 事
2015. 4. 1～3	Global Education Futures Forum 参加（ローズウッドサンドヒル メンローパークにて） 参加者：飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）
4. 2	文学研究科プレ FD プロジェクト事前研修会
4. 8～9	高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 1 回）
4.15	高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 1 回）
4.20	関西地区 FD 連絡協議会第 12 回幹事会
5. 7	高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 2 回）
5.13	高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 2 回）
5.13	教授 溝上 慎一 Society for Research on Identity Formation 22nd Annual Conference に出席・ 発表のためアメリカへ海外出張（5.19 帰国）
5.17	教授 飯吉 透 香港にて Asian e-Table 2015 Learning in E-learning への参加及び講演、南 京大学にて Symposium on Teaching and Learning in East Asian Research Universities への参加及 び講演のため中国へ海外出張（5.22 帰国）
5.23	関西地区 FD 連絡協議会 第 8 回総会 場所：京都大学百周年時計台記念館 プログラム： 総会 開会挨拶 講演 1「学習評価の新たな潮流～ルーブリックの意義と課題～」 松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授） 講演 2「主体的な学びとアクティブラーニングの違い」 溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター教授） 議事： 1. 平成 26 年度活動報告について 2. 関西地区 FD 連絡協議会の今後について 3. 平成 27 年度活動方針について 4. 平成 26 年度決算について 5. 平成 27 年度予算について 6. 次期幹事校の選出について 7. その他 ポスターセッション「FD 活動報告会 2015」 01 大阪教育大学 牧 郁子

- 『大阪教育学における授業評価の取り組みについて』
- 02 大阪経済法科大学  
呉 志賢（大学教育開発支援センター）  
『学修ポートフォリオ・学生カルテを用いた全学的修学支援の取組』
- 03 大阪人間科学大学  
佐野 秀行（人間科学部）  
『学内の多部局との連携による自律的FDの体制構築—大阪人間科学大学におけるFDの取り組み—』
- 04 大阪府立大学  
上垣友香理・畑野 快・高橋 哲也（高等教育推進機構）  
『大阪府立大学における初年次ゼミナールの取組み』
- 05 追手門学院大学  
藤本 祥之・岸岡奈津子（教育支援課・教育開発センター）  
『追手門学院大学における3つのポリシー再編の全学的な取り組みについて』
- 06 京都精華大学  
筒井 洋一（人文学部）  
『2014年情報メディア論』
- 07 京都聖母女学院短期大学  
山成 昭世・荒牧 裕一・黒田 健二・渡邊 慶一  
『地域密着型「共創」モデルの実践』
- 08 京都府立大学  
児玉 英明  
『京都三大学「教養教育共同化」は平成27年度さらに進化します』
- 09 京都薬科大学  
秋葉 聡・坂本 尚志・高野 江里・佐原 和美・近藤 利彦・後藤 直正  
『グローバル時代の薬学教育を目指したFD活動』
- 10 甲南女子大学  
大友 章司・信時 哲郎  
『修学サポートのためのポートフォリオ』
- 11 神戸松蔭女子学院大学  
黒崎 優美・青谷実知代・久津木 文  
『社会活動を通じてのFDへの取組み』
- 12 聖和短期大学  
聖和短期大学FD検討会  
『授業改善に向けた「授業評価アンケート」の検討』
- 13 千里金蘭大学  
谷村 綾子（生活科学部児童学科）  
『地域で学ぶ・こどもと学ぶ「キッズシティすいた」—地域連携・協働学習のための実践—』
- 14 相愛大学  
高木 学（人文学部 キャリア支援科目担当チーム）  
『人文系学部におけるキャリア支援科目の活動事例』
- 15 宝塚大学  
植松 陽一・岩城 晶子・北 太久也・山本 恭子（造形芸術学部 FD委員会）

『造形芸術学部における FD 活動の取り組み—芸術教育と芸術を学ぶ環境の向上について—』

16 帝塚山大学

谷 美奈

『自己省察としての文章表現「パーソナル・ライティング」の教育実践』

17 天理大学

島田 拓司・佐々木保孝 (FD 委員会)

『授業評価アンケートの結果分析とその活用』

18 長浜バイオ大学

長谷川 慎・高橋 敏宏・福崎 優太 (学習・就業力支援センター)

『学習支援と FD の関わり』

19 湊川短期大学

足達 哲也・尾崎 剛志 (人間生活学科)

『本学における教育改革とアクティブ・ラーニング』

20 桃山学院大学

松端 克文

『桃山学院大学における FD の課題と FD 研修を通じた取り組み』

閉会挨拶

5.27 FD 研究検討委員会 (第 16 回)

6.10 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 27 年度第 3 回)

高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 27 年度第 3 回)

6.17 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 27 年度第 1 回)

6.20 平成 27 年度科学研究費助成事業・基盤研究 (A) 継続

「大学教育改善の促進と教育イノベーション普及のための『大学教育コモンズ』の構築」

研究代表者：飯吉 透 高等教育研究開発推進センター教授

研究分担者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授

溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授

土佐 尚子 高等教育研究開発推進センター教授 (兼)

田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授

酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授

田中 一孝 高等教育研究開発推進センター特定助教

岡本 雅子 高等教育研究開発推進センター特定助教

鈴木 晶子 教育学研究科教授

梶田 将司 学術情報メディアセンター教授

喜多 一 学術情報メディアセンター教授

田地野 彰 国際高等教育院教授

高橋 幸 国際高等教育院准教授

辻 靖彦 放送大学教養学部准教授

木村 修平 立命館大学生命科学部准教授

村上 正行 京都外国語大学マルチメディア教育研究センター教授

小野 和宏 新潟大学医歯学系教授

	重田 勝介	北海道大学情報基盤センター准教授
	岡部 洋一	放送大学学長
	尾澤 重知	早稲田大学人間科学学術院准教授
	稲葉利江子	津田塾大学学芸学部准教授
	芳賀 瑛	法政大学情報メディア教育研究センター助手
	渡邊美智留	横浜薬科大学臨床薬学科准教授
	三浦 和美	東北福祉大学教育学部准教授
	道幸 俊也	関東学院大学法学部助教
	津吹 達也	京都工芸繊維大学大学戦略推進機構特任准教授
	櫻井 典子	新潟大学教育・学生支援機構特任准教授
	齊藤 弘通	産業能率大学経営学部准教授
	常見 幸	兵庫医療大学共通教育センター講師
	鈴木 美伸	法政大学総長室企画戦略本部特任講師
	平成 27 年度科学研究費助成事業・基盤研究（C）継続	
	「大学におけるコースポートフォリオ評価のためのルーブリック開発」	
	研究代表者：酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授	
6.23	平成 27 年度科学研究費助成事業・挑戦的萌芽研究新規	
	「アクティブラーニングとしての反転学習の効果検証」	
	研究代表者：溝上 慎一 高等教育研究開発推進センター教授	
	研究分担者：本田 周二 島根大学キャリアセンター講師	
	森 朋子 関西大学教育推進部准教授	
	三保 紀裕 京都学園大学経済学部講師	
	平成 27 年度科学研究費助成事業・若手研究（B）新規	
	「プラトンとアリストテレスの文芸論とその現代的意義の研究」	
	研究代表者：田中 一孝 高等教育研究開発推進センター特定助教	
	平成 27 年度科学研究費助成事業・基盤研究（B）新規	
	「能力形成を促すパフォーマンス評価の開発と拡張」	
	研究代表者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授	
	研究分担者：小野 和宏 新潟大学医歯学系教授	
	平山 朋子 藍野大学医療保健学部准教授	
	平成 27 年度科学研究費助成事業・若手研究（B）新規	
	「柔らかな科学コミュニケーションにおけるアナロジー活用のデザイン原則」	
	研究代表者：奥本 素子 高等教育研究開発推進センター特定准教授	
6.29	平成 27 年度科学研究費助成事業・若手研究（B）継続	
	「デジタルナラティブを利用した被災文化財情報の活用研究」	
	研究代表者：奥本 素子 高等教育研究開発推進センター特定准教授	
7.14	高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 4 回）	
7.22	高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 4 回）	

- 7.23 大学生研究フォーラム 2015 併催 チュートリアルセッション  
 学校法人河合塾協力  
 場所：京都府民総合交流プラザ 京都テルサ 会議室  
 プログラム：  
 チュートリアル1：「リフレクション学」ワークショップ  
 山辺恵理子（東京大学）・町支 大祐（青山学院大学）  
 チュートリアル2：「反転授業学」ワークショップ  
 森 朋子（関西大学）  
 チュートリアル3：「ファシリテーション学」ワークショップ  
 中野 民夫（同志社大学）  
 チュートリアル4：「エンゲージメント学」ワークショップ  
 中澤 明子（東京大学）・我妻 優美（大阪市立大学）  
 チュートリアル5：「リーダーシップ開発学」ワークショップ  
 館野 泰一（立教大学）・浜屋 祐子（東京大学）
- 7.24 大学生研究フォーラム 2015  
 「大学教育に必要なのは『プロジェクト』か『プロジェクト学習』か」  
 京都大学高等教育研究開発推進センター、東京大学大学総合教育研究センター、公益財団法人電通育英会共催  
 場所：京都大学百周年時計台記念館  
 プログラム：  
 フォーラム趣旨説明  
 溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター）  
 基調講演  
 「21 世紀の学びのデザイン：サステイナブルからレジリエントへ」  
 美馬のゆり（公立はこだて未来大学）  
 主催者挨拶  
 京都大学、東京大学、電通育英会  
 ジグソーカンファレンスの楽しみ方  
 中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター）  
 ピースセッション #1  
 #s1-1.「社会と直結する力を育てる」  
 ファシリテーター：村上 正行（京都外国語大学マルチメディア教育研究センター）  
 ①「未来を創る『主体的な学び』を实践する」  
 平山 恭子（一般社団法人 Future Skills Project 研究会事務局／株式会社ベネッセコーポレーション）  
 ②「自己を社会の中に文脈化するリフレクション手法：科目『体験の言語化』の開発」  
 岩井 雪乃（早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター）  
 #s1-2.「大学・企業・地域のコラボレーション」  
 ファシリテーター：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター）  
 ①「企業と大学のコラボ授業：なぜ大学でリーダーシップを教えるのか？」  
 日向野幹也（立教大学経営学部）  
 ②「企業と大学のコラボ授業：プロジェクトベースドラニングは何をもたらすか？」  
 見館 好隆（北九州市立大学キャリアセンター）

- ピースセッション#2
- #2-1.「地域と学校教育との接点」
- ファシリテーター：村上 正行（京都外国語大学マルチメディア教育研究センター）
- ①「これまでの地域開発の研究から学校の地域連携事業がどう見えるか？」
- 松永 桂子（大阪市立大学大学院創造都市研究科）
- ②「地域の未来を切り拓くグローバル教育プロジェクト」
- 中村 怜詞（島根県立隠岐島前高等学校）
- #2-2.「揺れる社会への入口」
- ファシリテーター：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター）
- ①「採用 2020：採用学の視点から見えてくるトレンド」
- 服部 泰宏（横浜国立大学大学院国際社会学研究院）
- ②「企業・採用担当者座談会」
- インテグレーションセッション
- 司会：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター）
- ディスカッション
- 司会：中原 淳（東京大学大学総合教育研究センター）
1. ピースのシェア
2. インテグレーション・ダイアローグ
- ラップアップ
- 溝上 慎一（京都大学高等教育研究開発推進センター）
- 
- 7.29 高等教育研究開発推進センター協議委員会（平成 27 年度第 2 回）
- 
- 7.29 FD 研究検討委員会・第 13 回勉強会「大学院カリキュラムの可視化」
- 場所：京都大学附属図書館 4 階 大会議室
- プログラム：
- 開会挨拶
- 北野 正雄（教育担当理事）
- 第 1 部 作成上の留意点の説明・意見交換
- 講演「大学院カリキュラムの可視化に向けて」
- 松下 佳代（高等教育研究開発推進センター教授）
- 山田 剛史（高等教育研究開発推進センター准教授）
- 第 2 部 相談会（ワークショップ形式）
- 閉会挨拶
- 飯吉 透（教育制度委員会WG2 主査）
- 
- 7.29 平成 27 年度科学研究費助成事業・基盤研究（B）継続
- 「コースポートフォリオを活用した大学カリキュラムの質保証モデルの構築」
- 研究代表者：田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授
- 研究分担者：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授
- 酒井 博之 高等教育研究開発推進センター准教授
- 
8. 4 大学院生のための教育実践講座 2015—大学でどう教えるか—
- FD 研究検討委員会主催



高等教育研究開発推進センター共催

場所：京都大学百周年時計台記念館 2 階

【Basic】 プログラム：

開会式

挨拶

飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター教授)

趣旨とプログラム説明

田中 一孝 (高等教育研究開発推進センター特定助教)

セッション 1

ミニ講義 1 「大学授業の現在と未来」

飯吉 透 (高等教育研究開発推進センター教授)

セッション 2

グループ討論 1 「大学授業をどう思うか」 (自己紹介)

セッション 3

ランチと自由討論

セッション 4

コミュニケーションデザイン：「演劇でコミュニケーションデザイン」

蓮 行 (大阪大学コミュニケーションデザイン・センター特任講師)

セッション 5

ミニ講義 2 「大学授業の現場から見たプレ FD 2015」

吉沢 一也 (大阪体育大学講師)

セッション 6

グループ討論 2 「大学の授業で教師に求められるもの」

グループ討論整理

セッション 7

全体討論 「大学で教えるために」

セッション 8

ミニ講義 3 「大学で教えるということ」

田口 真奈 (高等教育研究開発推進センター准教授)

閉会式

挨拶 北野 正雄 (京都大学理事)

修了証授与 飯吉 透 (FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター教授)

情報交換会

8.20～21

MOST フェロー合宿 2015

(第 4 期 MOST フェローシッププログラム第 2 回ミーティング)

場所：京都大学吉田泉殿・三井ガーデンホテル京都四条

プログラム (1 日目)：

開会挨拶

挨拶・本合宿研究会の趣旨について

飯吉 透 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)

MOST フェロー合宿プログラムについて

酒井 博之 (京都大学高等教育研究開発推進センター准教授)

セッション 1



## MOST フェロー活動報告

司会：酒井 博之（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

発表者

渡邊美智留（横浜薬科大学臨床薬学科准教授）

津吹 達也（京都工芸繊維大学大学戦略推進機構特任准教授）

常見 幸（兵庫医療大学共通教育センター講師）

鈴木 美伸（法政大学総長室企画・戦略本部特任講師）

芳賀 瑛（法政大学情報メディア教育研究センター助手）

三浦 和美（東北福祉大学教育学部准教授）

道幸 俊也（関東学院大学法学部助教）

櫻井 典子（新潟大学教育・学生支援機構特任准教授）

齊藤 弘通（産業能率大学経営学部准教授）

渡邊美智留（横浜薬科大学臨床薬学科准教授）

ディナーセッション

司会：田口 真奈（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

トーク1：「MOST フェローシッププログラムに参加して」

歴代 MOST フェロー with Pepper（ゲスト：第1期 MOST フェロー）

勝又あずさ（成城大学）

村上 裕美（関西外国語大学）

坂田 信裕（獨協医科大学）

矢野浩二郎（大阪工業大学）

成瀬 尚志（京都光華女子大学）

トーク2：「テクノロジーと教育のシナジーが切り拓く未来：レジリエントな教育実践  
コミュニティの自己進化を考える」

飯吉 透（京都大学高等教育研究会開発推進センター教授）

プログラム（2日目）：

セッション3

今年度後半のプログラムについて

酒井 博之（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）

第4期 MOST フェロー「MOS 室について（グループワーク）」

発表

セッション4

第22回大学教育研究フォーラムに向けて

大学教育研究フォーラムでの研究発表について

8.26～27

平成27年度全国大学教育研究センター等協議会参加

参加者：山田 剛史（高等教育研究開発推進センター准教授）

9. 2

全学教育シンポジウム「京大流・未来を拓く人の育て方」

FD研究検討委員会主催

場所：京都大学 桂キャンパス 船井哲良記念講堂

プログラム

司会進行：田口 真奈 高等教育研究開発推進センター准教授

開会挨拶：北野 正雄 理事（教育・情報・評価担当）

基調講演：山極 壽一 総長

「大学が直面する課題と京都大学が目指す教育」

報告：FD 研究検討委員会・高等教育研究開発推進センター

「10 学部の特徴ある教育の報告」

（10 学部 11 学科の映像と質疑応答）

進行役：松下 佳代 高等教育研究開発推進センター教授

講演：北野 正雄 理事

「京都大学の教育改革とそれを取り巻く状況」

報告：①「京都大学における高大接続・高大連携の取組みについて」

森脇 淳 理学研究科長

②「入学者選考と特色入試」

木南 敦 教育担当理事補／法学研究科教授

③「平成 28 年度からの教養・共通教育」

喜多 一 国際高等教育院副教育院長

パネルディスカッション「京大流・未来を拓く人の育て方」

コーディネーター：飯吉 透 教育担当理事補／高等教育研究開発推進センター長

パネリスト：山極 総長、北野 理事、森脇 研究科長、木南 理事補、喜多 副院長

柴 浩司 大阪府立大手前高等学校長

仲 暁子 ウォンテッドリー株式会社代表取締役 CEO

閉会挨拶：飯吉 透 教育担当理事補／高等教育研究開発推進センター長

9. 9 高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 5 回）

高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 5 回）

9.25 2015 年度 京都大学新任教員教育セミナー

高等教育研究開発推進センター・FD 研究検討委員会共同主催

場所：京都大学百周年時計台記念館国際交流ホール

開会式

挨拶：FD 研究検討委員会委員長／高等教育研究開発推進センター長／教育担当理事補

飯吉 透

司会：高等教育研究開発推進センター准教授 田口 真奈

セッション 1

ミニ講義 1：「現在の大学教育の動向と京都大学の教育改革」

教育担当理事 北野 正雄

セッション 2

ミニ講義 2：「京大の教育的取組」

「ICT を使った教育—MOOC を中心に—」

高等教育研究開発推進センター長／教授 飯吉 透

「高校と大学のギャップを埋める OCW プロジェクト」

国際高等教育院副教育院長／教授 三輪 哲二

セッション 3

ミニ講義 3：「京大生の学習のアセスメント」

高等教育研究開発推進センター准教授 山田 剛史

セッション 4

ミニ講義 4:「私の授業」

農学研究科教授 北島 薫

セッション 5

情報提供「京大の教育・学習支援」

高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代

図書館機構准教授 北村 由美

国際交流センター教授 河合 淳子

セッション 6

グループ討論:「京大でどう教え、指導するか」

【事】…事例紹介者、【77】…ファシリテーター

1. 「英語による授業」を担当することになったら

【事】国際高等教育院副教育院長／教授 喜多 一

【77】高等教育研究開発推進センター准教授 田口 真奈・研究員 丁 愛美

2. 基礎概念の理解を確かなものにするには

【事】工学研究科教授 琵琶 志朗

【77】高等教育研究開発推進センター教授 松下 佳代

3. 困難を抱えた学生に向き合うには

【事】健康科学センター助教 上床 輝久

【77】高等教育研究開発推進センター教授 溝上 慎一

4. 研究室をどう運営するか

【事】学際融合教育研究推進センター准教授 宮野 公樹

【77】高等教育研究開発推進センター特定准教授 奥本 素子

5. 博士課程院生のためのキャリア形成を支援するには

【事】学生総合支援センター・キャリアサポートルーム室長／教授 奥村 正悟

【77】高等教育研究開発推進センター特定助教 田中 一孝

セッション 7

ラップアップ

閉会式

挨拶: 飯吉 透 (FD 研究検討員会委員長／高等教育研究開発推進センター長)

情報交換会

9.29 教授 飯吉 透 HLA F ANNUAL AWARD & WORKSHOP (HAAW) への参加及び講演のためマレーシアへ海外出張 (10.2 帰国)

10. 2~3 Learning With MOOCS II, 2015 参加 (コロンビア大学にて)  
参加者: 酒井 博之 (高等教育研究開発推進センター准教授)  
後藤 崇志 (高等教育研究開発推進センター特定助教)

10. 5 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 27 年度第 3 回)

10.14 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 27 年度第 6 回)

10.28 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 27 年度第 6 回)

11. 4 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 27 年度第 7 回)

11. 8～10 edX Global Forum 参加（フェアモント ワシントン D.C. にて）  
参加者：飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）  
土佐 尚子（高等教育研究開発推進センター教授【兼】）  
酒井 博之（高等教育研究開発推進センター准教授）
- 11.18～20 The 12th Annual Open Education Conference 参加（フェアモントホテル バンクーバーにて）  
参加者：飯吉 透（高等教育研究開発推進センター教授）
- 11.25 高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 7 回）
- 11.25 第 11 回工学部教育シンポジウム  
京都大学工学部主催  
FD 研究検討委員会協賛  
場所：京都大学 桂キャンパス 桂ホール  
プログラム：  
開会挨拶 伊藤紳三郎（工学部長）  
話題提供  
「東京大学工学系における体系的英語教育プログラム」  
森村久美子（東京大学大学院工学系研究科准教授）  
質疑応答  
話題提供  
「英語教育の再編」  
村中 孝史（国際高等教育院長）  
話題提供  
「工学研究科で実施した TOEFL-ITP 試験およびアンケート結果からの学部・大学院英語教育への提言」  
三ヶ田 均（工学部教授）  
工学部教員による講演—「英語で提供する授業の有り方」  
①金 哲佑（地球工学科教授）  
②大村 善治（電気電子工学科教授）  
「委員長総括」  
松尾 哲司（新工学教育実施専門委員会委員長）  
ディスカッション
12. 9 第 91 回公開研究会・国際シンポジウム  
「MOOC は大学教育をどのように進化させるのか—How MOOC Evolves University Education—」  
主催：京都大学高等教育研究開発推進センター  
共催：京都大学 FD 研究検討委員会  
協賛：関西地区 FD 連絡協議会  
場所：京都大学芝蘭会館 稲盛ホール  
プログラム：  
オープニング  
挨拶：山極 壽一（京都大学総長）  
祝辞：アナント・アガーワル Anant Agarwal（CEO of edX）  
コンペティション

	<p>コンペティションの説明</p> <p>審査員紹介</p> <p>海外学生によるプレゼンテーション 4 名</p> <p>京大学生によるプレゼンテーション 1 名</p> <p>総評・表彰</p> <p>開会挨拶：飯吉 透（京都大学理事補／高等教育研究開発推進センター長）</p> <p>司会進行：松下 佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）</p> <p>総長挨拶：山極 壽一（京都大学総長）</p> <p>基調講演：キャシー・プー（Vice President of Education Services at edX）</p> <p>「MOOCs の過去と未来：私たちは何を成し遂げ、何処へ向かうのか？」</p> <p>“The Past and Future of MOOCs: What have we done and where are we going?”</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>モデレーター：飯吉 透</p> <p>趣旨説明：飯吉 透</p> <p>KyotoUx の現状</p> <p>酒井 博之（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）</p> <p>“Introduction to Statistical Methods for Gene Mapping” について</p> <p>山田 亮（京都大学医学研究科教授）</p> <p>“Fun with Prime Numbers: The Mysterious World of Mathematics” について</p> <p>伊藤 哲史（京都大学理学研究科准教授）</p> <p>“Culture of Services: New Perspective to Customer Relations” について</p> <p>山内 裕（京都大学経営管理大学院准教授）</p> <p>受講生アンケートと学習データの分析</p> <p>田口 真奈（京都大学高等教育研究開発推進センター准教授）</p> <p>ディスカッション</p> <p>閉会</p>
12.16	<p>高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 8 回）</p> <p>高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 8 回）</p>
12.24	<p>高等教育研究開発推進センター協議員会（平成 27 年度第 4 回）</p>
2016. 1.13	<p>高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 9 回）</p>
1.19	<p>高等教育研究開発推進センター教育コンテンツ活用推進委員会（平成 27 年度第 1 回）</p>
1.20	<p>高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 9 回）</p>
1.25～26	<p>センター研究会合宿</p>
2. 3	<p>高等教育研究開発推進センター運営委員会（平成 27 年度第 10 回）</p>
2. 4	<p>高等教育研究開発推進センター協議員会（平成 27 年度第 5 回）</p>
2.15	<p>高等教育研究開発推進センター運営会議（平成 27 年度第 10 回）</p>
2.19	<p>文学研究科プレ FD プロジェクト 2015 年度事後研修会</p>

- 2.24 高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 27 年度第 11 回)
- 2.29 高等教育研究開発推進センター協議員会 (平成 27 年度第 6 回)
3. 9 高等教育研究開発推進センター運営会議 (平成 27 年度第 11 回)  
高等教育研究開発推進センター運営委員会 (平成 27 年度第 12 回)
- 3.13～14 第 22 回大学教育研究フォーラム  
協賛：学校法人河合塾教育研究開発本部、関西地区 FD 連絡協議会  
場所：京都大学吉田南総合館、百周年時計台記念館、芝蘭会館  
プログラム：  
■ MOST フェロー発表会  
■ シンポジウム  
開会の挨拶：北野 正雄 (京都大学教育・情報・評価担当理事)  
趣旨説明：溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)  
シンポジウム「高大接続が大学教育に及ぼす影響—私たちは何を理解すべきか」  
講演 1 内村 浩 (京都工芸繊維大学教育研究基盤機構教授)  
講演 2 川妻 篤史 (桐蔭学園教務統括主任)  
講演 3 西岡加奈恵 (京都大学大学院教育学研究科准教授)  
講演 4 北岡 龍也 (文部科学省高等教育局大学振興課課長補佐)  
論点整理：松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)  
■ 小講演 1  
古澤 修一 (広島大学生物圏科学研究科免疫生物学教授)  
松田 岳士 (首都大学東京大学教育センター教授)  
杉本 和弘 (東北大学高度教養教育・学生支援機構教授)  
溝上 慎一 (京都大学高等教育研究開発推進センター教授)  
■ 小講演 2  
藤本 徹 (東京大学大学総合教育研究センター特任講師)  
福島 真司 (山形大学エンロールメント・マネジメント部准教授)  
益川 弘如 (静岡大学学術院教育学領域准教授)  
佐々木喜一 (成基コミュニティーグループ代表／教育再生実行会議有識者委員)  
■ 個人研究口頭発表 20 部会 115 件  
■ 個人研究ポスター発表 59 件  
■ 参加者企画セッション 11 件
- 3.18 第 5 期 MOST フェローシッププログラム第 1 回ミーティング  
第 4 期 MOST フェローシッププログラム修了式
- 3.29 教授 溝上 慎一 23rd Annual Conference への参加及び情報収集、2016 SRA Biennial Meeting #SRA16 への参加及び情報収集のためアメリカへ海外出張 (4.4 帰国)

(寺井 佐加恵)



## 高等教育研究開発推進センター組織

（2015 年 4 月 1 日～2016 年 3 月 31 日）

### 高等教育研究開発推進センター協議員：

飯吉 透	センター長
松下 佳代	センター教授
溝上 慎一	センター教授
村中 孝史	国際高等教育院長
喜多 一	国際高等教育院副教育院長
高橋 由典	大学院人間・環境学研究科長
森脇 淳	大学院理学研究科長
杉浦 和子	大学院文学研究科教授
子安 増生	大学院教育学研究科教授（科長）
前田 雅弘	大学院法学研究科教授
西牟田祐二	大学院経済学研究科教授
小西 靖彦	大学院医学研究科教授
佐治 英郎	大学院薬学研究科教授
北村 隆行	大学院工学研究科教授
村上 章	大学院農学研究科教授
山本 章博	大学院情報学研究科教授（科長）
美濃 導彦	学術情報メディアセンター教授

### 高等教育研究開発推進センター運営委員：

飯吉 透	センター長
松下 佳代	センター教授
溝上 慎一	センター教授
田口 真奈	センター准教授
酒井 博之	センター准教授
山田 剛史	センター准教授
土佐 尚子	センター教授（兼）
奥本 素子	センター特定准教授（5 月～）
森村 吉貴	センター特定准教授（3 月～）
田中 一孝	センター特定助教
岡本 雅子	センター特定助教
後藤 崇志	センター特定助教

### 高等教育研究開発推進センター教育コンテンツ活用推進委員会：

飯吉 透	センター長
酒井 博之	センター准教授
田口 真奈	センター准教授
児玉 聡	文学研究科・文学部准教授
西岡加名恵	教育学研究科・教育学部准教授



中西	康	法学研究科・法学部教授
坂出	健	経済学研究科・経済学部准教授
中務	真人	理学研究科・理学部教授
錦織	宏	医学研究科・医学部教授
金子	周司	薬学研究科・薬学部教授
大内	誠	工学研究科・工学部准教授
平井	伸博	農学研究科・農学部教授
西山	教行	人間・環境学研究科・総合人間学部教授
土井	俊哉	エネルギー科学研究科教授
安岡	宏和	アジア・アフリカ地域研究研究科准教授
河原	達也	情報学研究科教授
吉村	成弘	生命科学研究科教授
河合江	理子	総合生存学館（思修館）教授
乾	徹	地球環境学堂・学舎准教授
久本	憲夫	公共政策連携研究部・公共政策教育部教授
山内	裕	経営管理研究部・経営管理教育部准教授
喜多	一	国際高等教育院教授
土佐	尚子	情報環境機構教授
梶田	将司	情報環境機構教授
飯山	将晃	学術情報メディアセンター准教授
外村孝一郎	企画・情報部	情報基盤課 教育用システム管理掛 掛長
田川	義人	教育推進・学生支援部 教務企画課 課長補佐
田地野	彰	国際高等教育院教授

#### 平成 27 年度学外研究協力者：

Randall Bass	Georgetown 大学 Associate Provost
Robert Lue	Harvard 大学 Derek Bok Center Director
Eric Mazur	Harvard 大学教授
高橋 哲也	大阪府立大学教授・学長補佐
竹村 治雄	大阪大学教育学習支援センター教授・センター長
田中 每実	武庫川女子大学文学部教授
大塚 雄作	大学入試センター教授
山田 礼子	同志社大学社会学部教授
夏目 達也	名古屋大学高等教育研究センター教授
沖 裕貴	立命館大学教育開発推進機構教授
鳥居 朋子	立命館大学教育開発推進機構教授
吉田 文	早稲田大学教育・総合科学学術院教授
鈴木 克明	熊本大学大学院社会文化科学研究科教授
尾澤 重知	早稲田大学人間科学部准教授
村上 正行	京都外国語大学マルチメディア教育研究センター教授
重田 勝介	北海道大学情報基盤センター准教授
中原 淳	東京大学大学総合教育研究センター准教授
稲葉利江子	津田塾大学学芸学部准教授
辻 靖彦	放送大学准教授
森 朋子	関西大学教育開発支援センター准教授

**平成 27 年度学内研究担当教員：**

子安	増生	大学院教育学研究科教授
楠見	孝	大学院教育学研究科教授
高見	茂	大学院教育学研究科教授
服部	憲児	大学院教育学研究科准教授
喜多	一	国際高等教育院教授
田地野	彰	国際高等教育院教授
土井	真一	大学院法学研究科教授
永井	和	大学院文学研究科教授
北村	隆行	大学院工学研究科教授
村上	章	大学院農学研究科教授
平竹	潤	化学研究所教授
美濃	導彦	学術情報メディアセンター教授
梶田	将司	情報環境機構教授
宮野	公樹	学際融合教育研究推進センター准教授

## 高等教育研究開発推進センター教員業績

(2015 年 4 月～2016 年 3 月)

※職名は 2015 年度

### 第一部門（高等教育教授システム研究開発部門）

#### 飯吉 透（教授）

##### 1. 研究業績

###### 【報告書】

- ・飯吉透 2016.3 「はじめに」 京都大学高等教育研究開発推進センター 『CPEHE Annual Report 2015』, 1.
- ・飯吉透・田口真奈・酒井博之 2016.3 「Ⅷ. 産学連携 2. 富士通株式会社との共同研究」 同上, 36.

###### 【学会発表】

- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・重田勝介・田口真奈・飯吉透 2015.9 「悉皆調査を基にした日本の大学のモバイル活用先進校の特徴—ICT 活用実施状況に着目して—」 日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集, 電気通信大学（東京）
- ・田口真奈・酒井博之・岡本雅子・飯吉透 2015.9 「大学における授業改善のためのアイデア集積サイト MOS 宝の開発」 日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集, 電気通信大学（東京）
- ・Sadehvandi, N., Sakai, H., Taguchi, M., & Iiyoshi, T. 2015.9 An Analysis of Students' Perception of Peer Assessment Implications for future MOOC courses. 日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集, 電気通信大学（東京）

##### 2. 教育活動

###### 【学内】

###### ①全学共通教育

- ・ポケットゼミ「オープンエデュケーション入門」（前期）
- ・KUINEP「The World of Open Education」（後期）

###### ③大学院教育

- ・「高等教育システム演習 A・B」（教育学研究科, 前・後期）
- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科, 前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科, 前期）

##### 3. その他の活動

###### 【学内委員】

- ・理事補（教育担当）
- ・高等教育研究開発推進センター センター長
- ・FD 研究検討委員会 委員長
- ・教育コンテンツ活用推進委員会 委員長
- ・教育制度委員会 委員・WG2 主査
- ・入学試験委員会 委員
- ・高大接続・入試センター設置準備委員会 委員
- ・国際交流推進機構協議会・幹事会 委員
- ・研究公正委員会 委員
- ・研究公正推進委員会 委員

- ・研究公正の推進委員会 委員 全学情報セキュリティ委員会
- ・高大接続科学教育ユニット委員会 委員
- ・情報環境機構 KUINS 利用負担金検討委員会 委員
- ・吉田南総合図書館協議会 協議員

#### 【社会活動】

- ・Asian Journal of the Scholarship of Teaching and Learning, Editorial Board Member
- ・私学高等教育研究所 客員研究員
- ・文部科学省生涯学習政策局「ICT を活用した課題解決型教育の推進事業」企画評価委員会 委員
- ・関西地区 FD 連絡協議会 代表幹事校代表
- ・名古屋大学高等教育研究センター 外部評価委員会 委員
- ・大学教育学会企画委員会 委員
- ・立命館宇治高等学校スーパーグローバルハイスクール（SGH）運営指導委員会 委員

#### 【講演・シンポジウムなど】

- ・飯吉透 2015.4.1 “Techno-Optimistic Future of Education” Invited Lecture, Global Education Futures Forum, Menlo Park, California, U.S.A.
- ・飯吉透 2015.4.24 「オンライン教育革命—いつでも・どこでも・誰でも、無償で学べるネット講義—」第42回野依フォーラム例会講演, 名古屋大学
- ・飯吉透 2015.5.19 “Gamification in e-Learning” Invited Lecture, Asian e-Table 2015, University of Hong Kong, China
- ・飯吉透 2015.5.21 “Advancing Institutional Agenda on Learning and Teaching by Harnessing Open Educational Innovation and Improvement” The 2nd Symposium on Teaching and Learning in East Asian Research Universities, Nanjing University, China
- ・飯吉透 2015.6.7 “Artificial Intelligence & Education: Lifelong Learning Dialogue” TEDx Kyoto University 講演, 京都大学
- ・飯吉透 2015.7.15 「教育進化論 『学びと教え』のイノベーションが拓く新たな教育の世界」ラーニングテクノロジー2015 基調講演, 東京国際フォーラム
- ・飯吉透 2015.7.18 「今後の社会の展望と高等教育機関の役割」NEWVERY 高大接続フォーラム「大学入試改革の先にあるもの—高校教育の本質を考える—」講演, AP 大阪梅田茶屋町
- ・飯吉透 2015.8.5 「2020年代の大学教育」管理職研修会講演, 立命館大学
- ・飯吉透 2015.8.8 「今後の大学教育における ICT 利用の可能性と課題」「電子工学を活用した授業：英語教育の多様性」セミナー講演, 関西外国語大学
- ・飯吉透 2015.9.5 「オープンエデュケーション～新しい勉学のあり方」土曜講座講演, 市川学園
- ・飯吉透 2015.9.30 “Technology and Innovation in Education” Invited Lecture, HAAW 2015, Human Life Advancement Foundation, Kuala Lumpur, Malaysia
- ・飯吉透・稲葉カヨ 2015.10.9 “Nurturing Global Thinking in Local Communities: Service Learning at Kyoto University” International Seminar on University Social Responsibility, Hong Kong Polytechnic University, Hong Kong, China
- ・飯吉透 2015.10.23 「グローバル化時代における大学教育の進化と PBL の可能性」国際教養大学 大学の世界展開力強化事業 統括シンポジウム「大学教育における PBL の役割～課題と可能性」基調講演, 一橋大学一橋講堂
- ・飯吉透 2015.11.9 “What Have We Innovated?” Invited Talk and Panel, edX Global Forum, Georgetown, Washington D.C., U.S.A.
- ・飯吉透 2015.12.15 「ウェブで学ぶ—無限の可能性のためのオープンな学び—」グローバル進路講演会講演, 高槻高校
- ・飯吉透 2015.12.25 「グローバルな教育のオープン化が変える日本と世界の教育の未来」三国丘高校スーパーグローバルハイスクール特別講義, 京都大学
- ・飯吉透 2016.1.6 「ICT を利用した効果的な教育・学習のための授業設計と実践」「大学教育カンファレンス in 徳島」特別講演, 徳島大学
- ・飯吉透・酒井博之 2016.1.21 「ICT を利用した教育イノベーション戦略—MOOC の事例—」理学研究科 FD, 京都大学 理学研究科
- ・飯吉透 2016.3.10 「IT を活用した高等教育の展望：その可能性と課題」情報メディア教育研究センターシンポジウム「IT を活用した新たな教育方法の実践」招待講演, 法政大学

## 【その他】

- ・飯吉透・諸星裕・山本繁 2015.7.3 「選ばれる大学、選ばれない大学—改革と経営の間で生き残る大学の姿を追い求めて—」(パネルディスカッション), 第16回 manaba セミナー, 経団連カンファレンス
- ・飯吉透・山極壽一・北野正雄・森脇淳・木南敦・喜多一・柴浩司・沖暁子 2015.9.2 「京大流・未来を拓く人の育て方」(パネル司会), 第19回京都大学教育シンポジウム
- ・飯吉透・木村修平・須田将司・中津川雅宣・柳澤伸司・横山正子 2015.10.30 「manaba 活用 Tips—授業での多様な実践事例と工夫—」(パネル司会), 第17回 manaba セミナー, ホテル阪急インターナショナル

## 松下 佳代 (教授)

### 1. 研究業績

#### 【著書】

(編著)

- ・田中耕治・松下佳代・西岡加名恵・三藤あさみ 2015.6 『学習評価の挑戦—表現性評価在学校中的应用—』(鄭谷心訳), 华东师范大学出版社, 全162頁。(田中耕治・松下佳代・西岡加名恵・三藤あさみ 2015.6 『学力評価の挑戦—パフォーマンス評価の学校における応用—』(鄭谷心訳), 華東師範大学出版社, 全162頁.)
- ・松下佳代・石井英真(編) 2016.3 『アクティブラーニングの評価』東信堂, 全145頁.

(分担執筆)

- ・松下佳代 2016.3 「アクティブラーニングをどう評価するか」松下佳代・石井英真(編)『アクティブラーニングの評価』東信堂, 3-25.
- ・小野和宏・松下佳代 2016.3 「初年次教育におけるレポート評価」松下佳代・石井英真(編)『アクティブラーニングの評価』東信堂, 26-43.
- ・松下佳代 2016.3 「あとがき」松下佳代・石井英真(編)『アクティブラーニングの評価』東信堂, 136-137.

#### 【論文】

- ・松下佳代 2015.7 「能力をめぐる普遍性と時代性」『教育展望 臨時増刊(グローバル化社会の学校教育Ⅱ—これからの社会に求められる資質・能力—』第47号(第44回教育展望セミナー研究討議資料), 21-25.
- ・斎藤有吾・小野和宏・松下佳代 2015.11 「PBLの授業における学生の問題解決能力の変容に影響を与える学習プロセスの検討—コースレベルの直接評価と間接評価の統合—」『大学教育学会誌』第37巻第2号, 124-133.
- ・松下佳代 2016.3 「『読むこと』とディープ・アクティブラーニング」『国語科教育』第79集, 6-8.
- ・平山朋子・松下佳代・西村敦 2016.3 「医療教育における臨床推論を促進する『考える OSCE-R』の開発」『教師学研究』第18号, 23-33.

#### 【その他の著作物】

(一般雑誌)

- ・飯澤功・松下佳代 2015.4 「座談会 探究のエッセンスを維持して自校のスタイルを確立する」『VIEW21』ベネッセ, 6-9.
- ・天笠茂・安彦忠彦・松下佳代・佐々木裕子・寺崎千秋 2015.11 「21世紀を生き抜く資質・能力と教育(第44回教育展望セミナー全体会報告 パネルディスカッション要旨)」『教育展望』第61巻第10号, 19-49.

(報告書)

- ・松下佳代 2016.3 「授業を深化させるディープ・アクティブラーニングとは」一般社団法人日本私立大学連盟『平成27年度 教学担当理事者会議全体会議報告書「学生が成長実感をもてる大学教育とは」』, 21-34.
- ・松下佳代 2016.3 「ディープ・アクティブラーニングの方法とその評価」首都大学東京FD委員会『FDレポート「クロスロード」』第15号, 4-10.
- ・松下佳代 2016.3 「何のためのアクティブラーニングか—能力の形成と評価をめぐる—」広島県公立学校校長会連合会『第15回広島県公立学校校長会連合会 研究大会報告集』, 65-78.
- ・松下佳代 2016.3 「ディープ・アクティブラーニング—その現状と課題は何か—」くらしき作陽大学・作陽音楽短期大学高等教育研究センター『KSU 高等教育研究』第5号, 55-79.

- ・松下佳代 2016.3 「おわりに—ループブリックをめぐる論点と本研究の位置づけ—」『学生に“深い学び”を促すループブリック開発システムの構築』関西大学平成26年度及び平成27年度教育研究高度化促進費研究成果報告書（研究代表者：安藤輝次），141-146.
- ・松下佳代・山田剛史 2016.3 「教育制度改革支援」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2015』，2-5.
- ・田口真奈・松下佳代 2016.3 「新任教員教育セミナー」「教育サポートリソース」同上，8-11.
- ・松下佳代・佐金武・福田宗太郎 2016.3 「全学教育シンポジウム」同上，14-15.

#### 【学会発表】

- ・松下佳代 2015.8.30 「教育をめぐるアリーナとしての学力研究—パフォーマンスとコンピテンスの関係に着目して—」日本教育学会第74回大会，お茶の水女子大学.
- ・斎藤有吾・小野和宏・松下佳代 2015.9.22 「ループブリックを用いたレポート評価によるアカデミック・ライティング能力の測定と学習プロセスとの関連の検討」第31回日本教育工学会全国大会，電気通信大学.
- ・松下佳代 2015.10.10 「ディープ・アクティブラーニングの提案—知識と資質・能力をつなぐ—」日本教育方法学会第51回大会，岩手大学.
- ・松下佳代 2015.10.24 「『読むこと』とディープ・アクティブラーニング」全国大学国語教育学会第129回大会，創価大学.
- ・松下佳代 2015.10.25 「指定討論 アクティブ・ラーニングを考える」日本カリキュラム学会秋のセミナー2015，お茶の水女子大学.
- ・松下佳代 2015.11.29 「共通教育における学習成果の直接評価—成果と課題—」大学教育学会2015年度課題研究集会，岩手大学.
- ・松下佳代 2015.12.5 「学力格差—教育方法学の視点から—」2015年度日本教育心理学会主催公開シンポジウム「学力格差は超えられるか—教育心理学からの挑戦」，東京大学.
- ・平山朋子・松下佳代・西村敦・新保健次・杉本明文・何川渉 2016.3.17 「理学療法版『考える OSCE-R』における学生のリフレクションと思考の深化—MAXQDAを用いたリフレクションシートの分析を通じて—」第22回大学教育研究フォーラム，京都大学.
- ・斎藤有吾・小野和宏・松下佳代 2016.3.18 「高次の認知的能力への学生の自己認識は教員による評価の代替たりえるか—パフォーマンス評価における教員の評価と学生の自己評価，及び間接評価との関連に注目して—」第22回大学教育研究フォーラム，京都大学.
- ・松下佳代 2016.3.18 「ループブリックの課題と可能性—組織的な取組に向けて—」第22回大学教育研究フォーラム（参加者企画セッション「ループブリックの課題と可能性—組織的な取組に向けて—」），京都大学.

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ①教養・共通教育

- ・「教育学基礎ゼミナールⅢ」（後期）

#### ③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育方法演習 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」（教育学研究科，後期）

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・京都大学点検・評価実行委員会委員
- ・センター自己点検評価委員会委員
- ・京都大学男女共同参画推進センター ワーキンググループ事業推進員



・FD 研究検討委員会委員

# 【社会活動】

- ・大学教育学会理事，学会誌常任編集委員
- ・日本教育学会理事
- ・日本カリキュラム学会理事，事務局長
- ・日本教育方法学会理事
- ・教育目標・評価学会理事
- ・公益財団法人電通育英会理事
- ・日本学術会議連携会員
- ・山口大学大学教育再生加速プログラム（AP 事業）アドバイザー
- ・関西大学大学教育再生加速プログラム（AP 事業）スーパーバイザー
- ・大阪府教育センター高等学校における多様な学習成果の評価手法に関する調査研究に係る評価手法検討会委員
- ・山梨学院大学附属小学校学習カリキュラムセンター客員研究員
- ・東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所共同研究「子どもの生活と学び」研究プロジェクト推進会議委員

# 【講演】

- ・松下佳代 2015.4.30 「高校におけるアクティブ・ラーニングの可能性」高槻高等学校講演会，高槻高等学校.
- ・松下佳代 2015.5.15 「『考える力』を育てる授業とは？—アクティブラーニングから，ディープ・アクティブラーニングへ—」府立高教組口丹ブロック教育研究会，京都府立園部高等学校.
- ・松下佳代 2015.5.23 「学習評価の新たな潮流—ループリックスの意義と課題—」関西地区 FD 連絡協議会第 8 回総会，京都大学.
- ・松下佳代 2015.6.24 「〈新しい能力〉の形成と評価—地域公共人材の育成のために—」龍谷大学 LORC・政策学部 FD 研究会，龍谷大学.
- ・松下佳代 2015.6.29 「『学習成果』の設定と評価—パフォーマンス評価を中心に—」大学基準協会職員研修会，大学基準協会.
- ・松下佳代 2015.7.10 「何のためのアクティブ・ラーニング？—能力の形成と評価をめぐって—」平成 27 年度第 1 回宮崎大学 FD 研修会，宮崎大学.
- ・Kayo Matsushita 2015.7.26 Possibilities and challenges of performance assessments in Japan. NIER Learning Science International Symposium, University of Tokyo.
- ・松下佳代 2015.7.30 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法」東北学院大学 FD 講演会，東北学院大学.
- ・松下佳代 2015.8.3 「能力をめぐる普遍性と時代性」第 44 回教育展望セミナー，私学会館.
- ・松下佳代 2015.8.5 「ディープ・アクティブラーニング—その現状と課題は何か—」くらしき作陽大学高等教育研究センター公開講演会，くらしき作陽大学.
- ・松下佳代 2015.8.19 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法」関西国際大学 2015 年度 FD 研修会，関西国際大学.
- ・松下佳代 2015.8.27 「授業を深化させるディープ・アクティブラーニングとは」日本私立大学連盟平成 27 年度教学担当理事者会議，千里阪急ホテル.
- ・松下佳代 2015.8.29 「アクティブラーニングの可能性と課題—ディープ・アクティブラーニングへ—」数学教育の会 2015 年夏特別講演会，お茶の水女子大学.
- ・松下佳代 2015.9.8 「アクティブラーニングの先へ—ディープ・アクティブラーニングの提案—」大阪歯科大学 FD セミナー，大阪歯科大学.
- ・松下佳代 2015.9.16 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法—大学授業を深化させるために—」同朋大学 FD 研修会，同朋大学.
- ・松下佳代 2015.9.26 「看護技術教育におけるパフォーマンス評価導入の可能性を探る」看護エデュケア研究会平成 27 年度セミナー，キャンパスプラザ京都.
- ・松下佳代 2015.10.3 「学習成果をどう評価するか？—評価課題とループリックスの開発—」第 14 回関西大学 FD フォーラ



- ム・大学教育学会課題研究「学士課程教育における共通教育の質保証」合同企画イベント，関西大学千里山キャンパス.
- ・松下佳代 2015.11.6 「学習成果の設定と評価」東洋大学平成 27 年度自己点検・評価セミナー，東洋大学.
- ・松下佳代 2015.11.7 「アクティブラーニングを深化させるパフォーマンス評価」第 4 回全国シンポジウム「女性のリーダーシップと医学／医療教育研修の発展性」，秋田キャッスルホテル.
- ・松下佳代 2015.11.14 「ディープ・アクティブラーニングとそのアセスメント」Blackboard Learning & Teaching Conference 2015 Tokyo，ベルサール八重洲.
- ・松下佳代 2015.11.15 「アクティブ・ラーニングを捉え直すーディープ・アクティブラーニングの提案ー」日本教育学会北海道地区・北海道教育学会シンポジウム，北海道教育大学サテライト教室.
- ・松下佳代 2015.11.19 「ループリットを使った評価ー何のためのループリットかー」京都光華女子大学ループリット講演会，京都光華女子大学.
- ・松下佳代 2015.11.20 「ディープ・アクティブラーニングの方法とその評価」平成 27 年度首都大学東京 FD セミナー，首都大学東京南大沢キャンパス.
- ・松下佳代 2015.11.26 「アクティブラーニングを深めるためにーディープ・アクティブラーニングの提案ー」実践女子大学・短期大学部 FD 研修会，実践女子大学.
- ・松下佳代 2015.12.7 「アクティブ・ラーニングを考えるーディープ・アクティブラーニングの提案ー」平成 27 年度八頭高等学校国語科研究授業，鳥取県立八頭高等学校.
- ・松下佳代 2015.12.11 「ディープ・アクティブラーニングの方法とその評価」日能研研修会，日能研新横浜本部.
- ・松下佳代 2015.12.12 「高校と大学をつなぐディープ・アクティブラーニングとその評価」桐蔭学園アクティブラーニング公開研究会 2015，桐蔭学園シンフォニーホール.
- ・松下佳代 2015.12.14 「能力と学習の評価ーその枠組みー」岡山大学 AP 採択事業国際バカロレアの「学びの評価」と高校・大学教育改革への活用，岡山大学創立五十周年記念館.
- ・松下佳代 2015.12.19 「学びの深化と学習評価ーパフォーマンス評価を中心にー」アカデミック・リーダー育成プログラム，東北大学川内キャンパス.
- ・松下佳代 2015.12.25 「何のためのアクティブラーニングかー能力の形成と評価をめぐってー」平成 27 年度広島県公立学校校長会連合会研究大会講演会，アステールプラザ.
- ・松下佳代 2016.1.8 「ディープ・アクティブラーニングの目指すところ」高槻中学・高等学校 AL 研修，高槻中学・高等学校.
- ・松下佳代 2016.1.16 「能力・学習・評価のオルターナティブ」日本大学大学院文学研究科教育学専攻特別講義，日本大学文理学部キャンパス.
- ・松下佳代 2016.1.28 「大学教育改革の動向とディープ・アクティブラーニング」第 18 回法政大学大学評価室セミナー，法政大学.
- ・松下佳代 2016.2.23 「ディープ・アクティブラーニングをめざして」大学教育改革セミナー，東北大学川内キャンパス.
- ・松下佳代 2016.2.25 「ディープ・アクティブラーニングとその評価」石川県教育センター所員研修会，石川県教育センター.
- ・松下佳代 2016.2.26 「ディープ・アクティブラーニングの考え方と方法」上越教育大学 平成 27 年度ファカルティ・ディベロップメント研修会，上越教育大学.
- ・松下佳代 2016.3.2 「ループリットを使った評価ー何のためのループリットかー」四天王寺大学平成 27 年度 FSD 全体研修会，四天王寺大学.
- ・松下佳代 2016.3.3 「高等教育における哲学教育の意義ー指定討論ー」国立教育政策研究所高等教育政策セミナー（7）哲学教育研究会キックオフミーティング兼研究会，霞山会館.
- ・松下佳代 2016.3.8 「アクティブラーニングを深めるーディープ・アクティブラーニングの考え方と方法ー」恵泉女学園大学 FD 研修会，恵泉女学園大学.
- ・松下佳代 2016.3.11 「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」明治学院大学教養教育センター講演会，明治学院大学.
- ・松下佳代 2016.3.23 「ディープ・アクティブラーニングのポイントー課題をどう設定するかー」平成 27 年度宮崎大学基

礎教育部 FD 研修会, 宮崎大学.

- ・松下佳代 2016.3.24 「ディープ・アクティブラーニングの理論と方法」2015 年度三重大学全学 FD, 三重大学.
- ・松下佳代 2016.3.28 「学習成果としての能力とその評価—能力と評価に関する国際的動向をふまえて—」「国際連携研究を土台とした生活者育成をめざすレッスン・スタディのモデル構築」学習会, 京都大学.

## 溝上 慎一 (教授)

### 1. 研究業績

#### 【論文・著書など】

- ・溝上慎一 2015.5 「青年心理学との融合」笠井清登・藤井直敬・福田正人・長谷川真理子 (編)『思春期学』東京大学出版会, 321-329.
- ・溝上慎一 (責任編集) 京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾 (編) 2015.8 『どんな高校生が大学, 社会で成長するのか—「学校と社会をつなぐ調査」からわかった伸びる高校生のタイプ—』学事出版
- ・溝上慎一 2015.8 「なぜ, 学校から社会へのトランジション (移行) 調査か」溝上慎一 (責任編集) 京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾 (編)『どんな高校生が大学, 社会で成長するのか—「学校と社会をつなぐ調査」からわかった伸びる高校生のタイプ—』学事出版, 6-13.
- ・溝上慎一 2015.8 「生徒タイプの分析から見える高校生の特徴」溝上慎一 (責任編集) 京都大学高等教育研究開発推進センター・河合塾 (編)『どんな高校生が大学, 社会で成長するのか—「学校と社会をつなぐ調査」からわかった伸びる高校生のタイプ—』学事出版, 14-32.
- ・溝上慎一 2015.8 「大学教育から初等中等教育へと降りてきたアクティブ・ラーニング」梶田毅一 (責任編集) 人間教育研究協議会 (編)『アクティブ・ラーニングとは何か』(教育フォーラム 56), 金子書房, 6-15.
- ・溝上慎一 2015.8 「自分がわかるとは」『教育心理学年報』第 54 集, 169-170.
- ・溝上慎一 2015.11 「学修成果の可視化から見える学生像」『大学教育学会誌』第 37 巻第 2 号, 15-17. (査読なし)
- ・Côté, J., Mizokami, S., Roberts, S., Nakama, R., Meca, A. L., & Schwartz, S. 2015.12 The role of identity horizons in education-to-work transitions: A cross-cultural validation study in Japan and the United States. *Identity: An International Journal of Theory and Research*, 15, 263-286. (査読付き)
- ・奥田阿子・三保紀裕・森朋子・溝上慎一 2015.12 「新入生を対象とした上級英語クラスにおける反転学習の導入と効果の検討」『京都大学高等教育研究』第 21 号, 41-52. (査読付き)
- ・Jiang, Y., & Mizokami, S. 2015.12 How peer instruction affects students' approach to learning: Focusing on students' out-of-class learning time. *Educational Technology Research*, 38(1), 1-9. (査読付き)
- ・Côté, J., Mizokami, S., Roberts, S. E., & Nakama, R. 2016.1 An examination of the cross-cultural validity of the identity capital model: American and Japanese students compared. *Journal of Adolescence*, 46, 76-85. (査読付き)
- ・溝上慎一 2016.3 「自己論—内的他者との共創的越境を通じた成長—」田島充士・中村直人・溝上慎一・森下覚 (編)『学校インターンシップの科学—大学の学びと現場の実践をつなぐ教育—』ナカニシヤ出版, 86-100.
- ・溝上慎一 (総監修) 2016.3 『アクティブラーニング・シリーズ』全 7 巻, 東信堂
- ・溝上慎一・成田秀夫 (編) 2016.3 『アクティブラーニングと PBL・探究的な学習』(アクティブラーニング・シリーズ第 2 巻), 東信堂
- ・溝上慎一 2016.3 「アクティブラーニングとしての PBL・探究的な学習の理論」溝上慎一・成田秀夫 (編)『アクティブラーニングと PBL・探究的な学習』(アクティブラーニング・シリーズ第 2 巻), 東信堂, 5-23.
- ・溝上慎一 (編) 2016.3 『高等学校におけるアクティブラーニング: 理論編』(アクティブラーニング・シリーズ第 4 巻), 東信堂
- ・溝上慎一 2016.3 「アクティブラーニングの背景」溝上慎一 (編)『高等学校におけるアクティブラーニング: 理論編』(アクティブラーニング・シリーズ第 4 巻), 東信堂, 3-27.
- ・溝上慎一 2016.3 「大学教育におけるアクティブラーニングとは」溝上慎一 (編)『高等学校におけるアクティブラーニング: 理論編』(アクティブラーニング・シリーズ第 4 巻), 東信堂, 28-41.
- ・溝上慎一 2016.3 「高等学校に下りてきたアクティブ・ラーニング」溝上慎一 (編)『高等学校におけるアクティブラー

ニング：理論編』（アクティブラーニング・シリーズ第4巻），東信堂，42-61.

- ・溝上慎一（編） 2016.3 『高等学校におけるアクティブラーニング：事例編』（アクティブラーニング・シリーズ第5巻），東信堂

#### 【学会発表】

- ・ Mizokami, S., Nakama, R., Roberts, S., Schwartz, S., & Côté, J. 2015.5.15 The role of identity horizons in education-to-work transitions: A cross-cultural validation study in the United States and Japan. Poster presented at *the Society for Research on Identity Formation 22<sup>nd</sup> Annual Conference*. Bellingham, US.
- ・溝上慎一 2015.6.6 「学修成果の可視化からみえる学生像」大会シンポジウム「学生の育ちをみる」，大学教育学会第37回大会，長崎大学
- ・溝上慎一 2015.8.26 指定討論 自主シンポジウム・西垣悦代企画「学生・生徒のインタラクティブで能動的な学びに活かすコーチング心理学」日本教育心理学会第57回総会，新潟大学
- ・森朋子・本田周二・溝上慎一 2015.8.26 「大学教育の反転授業デザインー授業観察からその効果を考察するー」日本教育心理学会第57回総会，新潟大学
- ・溝上慎一 2015.8.27 自主シンポジウム「日本の青年期発達をいかに理解すべきかー欧米の知見はどこまで適用可能なかー」企画趣旨 日本教育心理学会第57回総会，新潟大学
- ・舘野泰一・中原淳・木村充・保田江美・吉村春美・田中聡・浜屋祐子・高崎美佐・溝上慎一 2015.9.21 「大学での学びが組織参入後のプロアクティブ行動に与える影響」日本教育工学会第31回全国大会発表，電気通信大学
- ・中間玲子・杉村和美・畑野快・溝上慎一・都筑学 2015.9.24 「アイデンティティスタイル尺度第5版（ISI-5）日本語版の作成」日本心理学会第67回大会発表，名古屋大学
- ・Sugimura, K., Nakama, R., Mizokami, S., Hatano, K., & Tsuzuki, M. 2015.10.15 Radical and moderate separation from parents in Japanese emerging adults: The relationship with autonomy, identity, and well-being. Paper presented at *the 7th Conference of the Society for the Study of Emerging Adulthood*, Miami, FL. US.
- ・Nouchi, R., Mizokami, S., & Sugiura, M. 2015.11.1 General and specific self: An fMRI study. Poster presented at *International Symposium Adolescent Brain & Mind and Self-Regulation*. Tokyo, Japan
- ・溝上慎一 2015.11.29 課題研究シンポジウム企画・報告「アクティブラーニングの効果検証ー課題研究の企画と現在進めている作業ー」大学教育学会 2015 年度課題研究集会，岩手大学
- ・Nakama, R., Sugimura, K., Mizokami, S., Hatano, K., & Tsuzuki, M. 2016.3.30 The sense of identity of the twelfth grader in Japan: Its distinctive features and the relationship with parental relationship, ISRI and well-being. Poster presented at *the 23rd Annual Conference of The International Society for Research on Identity*. Baltimore, US.

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ①全学共通教育

- ・「自己形成の心理学」（前期）

#### ② KUINEP

- ・「University and University Students in Today's Japan」（前期）
- ・「Self-Formation in Adolescence」（後期）

#### ③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）
- ・「青年期の自己・アイデンティティ形成」（教育学研究科，後期）

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・FD 研究検討委員会

・大学評価委員会

# 【社会活動】

- ・日本青年心理学会常任理事
- ・大学教育学会常任理事
- ・大学教育学会『大学教育学会誌』編集委員
- ・日本青年心理学会『青年心理学研究』編集委員
- ・Journal of Adolescence, Editorial Board 委員
- ・電通有英会大学生調査プロジェクトアドバイザー
- ・京都市立西京高等学校 SGH 運営指導委員
- ・北海道スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会委員
- ・産業能率大学 AP 実行委員会外部委員
- ・産業能率大学大学再生加速プログラム専門家委員
- ・学校法人桐蔭学園教育顧問
- ・日本学術振興会科学研究費委員会専門委員
- ・大阪医科大学看護学研究科「看護学教育開発論」「看護学教育演習」
- ・徳山大学大学再生加速プログラム外部評価委員
- ・『京都市立新設高校創設プロジェクト』に関する有識者会議委員

# 【講演】

- ・溝上慎一 2015.4.25 「私の中に生きている茨高」大阪府立茨木高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.5.23 「主体的な学習からアクティブラーニングを理解する」関西地区 FD 連絡協議会第 8 回総会講演
- ・溝上慎一 2015.6.4 「なぜ言語活動の充実ではなく、アクティブラーニングなのか」平成 27 年度全国教育研究所連盟総会・研究発表大会及び都道府県指定都市教育センター所長協議会総会・研究協議会（大阪大会）合同講演会
- ・溝上慎一 2015.6.8 「キャリア教育の視点でのコンピテンシー育成の重要性」広島県教育委員会平成 27 年度高等学校進路指導主事研修会
- ・溝上慎一 2015.6.20 「高等学校におけるアクティブラーニングの展開」愛知県「やはぎ会」「日曜会」「土曜会」合同研究会講演
- ・溝上慎一 2015.6.25 「アクティブラーニングによって何をを目指すのか」京都ノートルダム女子大学 FD 委員会主催講演
- ・溝上慎一 2015.7.2 「進学校におけるアクティブラーニングについて」大阪府立岸和田高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.7.11 「現代社会を力強く生きぬくための高校・大学での学び」河合塾大阪校親子ガイダンス基調講演
- ・溝上慎一 2015.7.16 「大学・社会につながるアクティブラーニング」大阪開催 第 2 回私学マネジメント定例セミナー講演
- ・溝上慎一 2015.7.25 「総括講演」大学生研究フォーラム 2015
- ・溝上慎一 2015.7.28 「アクティブラーニングを通して社会と学校を繋ぐ」平成 27 年度大阪府立高等学校教務研究会 夏期研修講演
- ・溝上慎一 2015.7.30 「アクティブ・ラーニングという視座と授業づくり」2015 年度嘉悦大学全学 FD フォーラム講演
- ・溝上慎一 2015.8.6 「アクティブラーニング型授業への転換」京都大学スペイン語部会研修講師
- ・溝上慎一 2015.8.6 「自発的微笑と発達」京都大学オープンキャンパスお試し講義
- ・溝上慎一 2015.8.8~9 「主体的な学びからアクティブラーニングを理解する」学研・高校教育フォーラム 2015 講演
- ・溝上慎一 2015.8.10 「高等学校へのアクティブラーニングの導入と課題」平成 27 年度京都府立高等学校副校長会講演
- ・溝上慎一 2015.8.14 「看護学教育開発論」大阪医科大学集中講義
- ・溝上慎一 2015.8.18 「トランジション課題を前にしての学力とアクティブラーニング」長崎市教育委員会平成 27 年度学力向上研修会講演
- ・溝上慎一 2015.8.20 「学校から仕事・社会へのトランジションの観点から生活科教育への提案」東京書籍教科書学習会報告
- ・溝上慎一 2015.8.23 「トランジション課題解決のためのアクティブラーニング、学力との関係」産業能率大学授業力向上フォーラム名古屋会場講演
- ・溝上慎一 2015.8.25 「なぜ、今アクティブラーニングか」東京私立中学高等学校協会・平成 27 年度理事長校長部会講演



- ・溝上慎一 2015.8.28 「学力の3要素を大学・社会に繋げて育てる『アクティブラーニング』」香川県立観音寺第一高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.8.31 「教育評価のあり方」大阪医科大学看護学部FD講演会
- ・溝上慎一 2015.9.10 「学校から仕事・社会へのトランジションとアクティブラーニングー言語活動を中核に据えてー」京都府教育庁アクティブラーニング研修会講師
- ・溝上慎一 2015.9.19 「今なぜアクティブラーニングか、その手法と効果」中央大学FD推進委員会講演
- ・溝上慎一 2015.9.28 「力強く学び成長する大学生・大人になるために」奈良県立畝傍高等学校第3学年「総合的な学習の時間」講演会
- ・溝上慎一 2015.9.30 「学力向上とアクティブラーニングの活用法について」京都府立鳥羽高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.10.9 「学習への深いアプローチを目指すアクティブラーニング」北海道教育大学附属函館中学校講演
- ・溝上慎一 2015.10.13 「高等学校に導入されるアクティブラーニング」平成27年度第3回PDA研修会講演
- ・溝上慎一 2015.10.14 「大学・社会と繋ぐためのアクティブラーニング」京都府立嵯峨野高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.10.15 「アクティブラーニングの理論と実践」奈良県立教育研究所主催第3期ミドルリーダー養成研修講座（第9回）講師
- ・溝上慎一 2015.10.22 「大学・社会と繋ぐためのアクティブラーニング」大妻嵐山中学校高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.10.30 「高校に降りてきたアクティブラーニングー大学・社会を接続させたトランジション改革ー」ラーンズ主催第2回合格力養成研究会講演
- ・溝上慎一 2015.11.1 「アクティブラーニングのOSとしての教育コーチングの可能性」一般社団法人日本青少年育成協会基調講演
- ・溝上慎一 2015.11.2 「アクティブラーニングと君たちの将来がどう繋がっているか？」「大学・社会と繋ぐためのアクティブラーニングーこれからの授業のありかたについてー」神奈川県立麻溝台高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.11.6 「大学・社会と繋ぐためのアクティブラーニング」北海道立芦別高等学校講演
- ・溝上慎一 2015.11.16 「授業を見学して」大阪府立四条畷高等学校2015年度アクティブラーニングに関する研究授業指導助言
- ・溝上慎一 2015.11.20 「アクティブラーニングが目指すものと学校現場への課題」静岡県高等学校長協会秋季研究大会講演
- ・溝上慎一 2015.11.21 「学校と社会をつなぐ調査からみる鷗友生」鷗友学園女子中学高等学校創立80周年記念連続講演会
- ・溝上慎一 2015.12.12 「力強い若者を大学・社会に送り出すためにー桐蔭学園のアクティブラーニング推進からー」桐蔭学園アクティブラーニング公開研究会2015総括講演
- ・溝上慎一 2015.12.19 「プロジェクト学習としての探究的な学習をアクティブラーニング論に位置づけて理解する」産業能率大学主催Active Forum at Kyoto講演
- ・溝上慎一 2015.12.21 「アクティブラーニング理解を深化させ、実践に繋げる」静岡県総合教育センター講演
- ・溝上慎一 2015.12.27 「学習と成長パラダイムにおけるアクティブラーニングの展開」第8回国語教育実践研究大会講演
- ・溝上慎一 2016.1.7 「社会に繋がる学習ーアクティブラーニングとトランジションー」第53回北海道高等学校教育研究大会講演
- ・溝上慎一 2016.1.20 「10年トランジション調査の結果から新生・塔南高校の姿を考える」京都市立塔南高等学校講演
- ・溝上慎一 2016.1.31 「今なぜアクティブラーニングかを理解するために」福岡教育連盟平成27年度研修大会講演
- ・溝上慎一 2016.2.3 「学びが深化し、学ぶ意欲が高まる授業を目指して」平成27年度第8回関西外大FDシンポジウム講演
- ・溝上慎一 2016.2.8 「アクティブラーニングと深い学び」立命館アジア太平洋大学講演
- ・溝上慎一 2016.2.12 「アクティブ・ラーニング」コモンビジョン研究会
- ・溝上慎一 2016.2.28 「高校に降りてきたアクティブラーニングー大学・社会を接続させたトランジション改革ー」ラーンズ主催合格力を養成する研究会（広島会場）講演
- ・溝上慎一 2016.3.4 「アクティブラーニングと組織的改革」河合塾FDセミナーラップアップ講演
- ・溝上慎一 2016.3.7 「授業をアクティブ化していくために」大同大学アクティブラーニング講演会
- ・溝上慎一 2016.3.17 「高大接続・大学入試改革を理解するための高校でのアクティブラーニングの理論的・実践的展開」

大学教育研究フォーラム第22回小講演

- ・溝上慎一 2016.3.21 「アタッチメントと人の発達」大学生協キャンパスライフ入門講座 模擬講義
- ・溝上慎一 2016.3.26 「トランジション課題を解決するためのアクティブラーニング改革」東京大学×JCERI「授業改善リーダーのためのアクティブラーナーズサミット2016」基調講演

## 【その他】

(新聞・雑誌)

- ・溝上慎一 2015.4.15 「組織的な実践と改善により教授学習パラダイムの転換を」『Between』2015年4-5月号
- ・溝上慎一 2015.5.13 「『アクティブ・ラーニング』とは何か」『月刊高校教育』2015年6月号
- ・溝上慎一 2015.7 「高校のキャリア教育をどう共有していくか？」『学研・進学情報』2015年7月号
- ・溝上慎一 2015.8 「アクティブラーニングで何が変わるのか」国際文化フォーラム『CoReCa』2014-2015事業報告
- ・溝上慎一 2015.10 「アクティブ・ラーニングの基礎的理解」『指導と評価』2015年10月号
- ・溝上慎一 2015.12 「どこの大学、会社に入ったかではなく、社会で力強く生きる生徒をいかに育てるか」『Career Guidance』Vol. 410
- ・溝上慎一 2016.3 「変革の時代に求められる協働性—Active Learning」『毎日小学生新聞』2016PR版
- ・溝上慎一 2016.3 「教師のためのアクティブ・ラーニング指導法」『教育展望』2016年3月号

## 田口 真奈 (准教授)

### 1. 研究業績

(報告書)

- ・松下佳代・田口真奈 2016.3 「Ⅱ. 教育制度改革支援 1. 学部コースツリー」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2015』, 2-3.
- ・田口真奈・松下佳代 2016.3 「Ⅲ. 教育・授業改善, FD 1. 新任教員教育セミナー」同上, 8-11.
- ・田口真奈・松下佳代 2016.3 「Ⅲ. 教育・授業改善, FD 2. 教育サポートリソース」同上, 11.
- ・佐金武・田口真奈 2016.3 「Ⅲ. 教育・授業改善, FD 3. プレFD」同上, 12-13.
- ・酒井博之・田口真奈・奥本素子・田中一孝・岡本雅子・後藤崇志 2016.3 「Ⅳ. ICTの教育的活用 2. 大規模オープンオンライン講義(MOOC)」同上, 19-22.
- ・酒井博之・田口真奈 2016.3 「Ⅳ. ICTの教育的活用 3. 教育コンテンツ活用推進委員会」同上, 23.
- ・田口真奈・酒井博之 2016.3 「Ⅳ. ICTの教育的活用 4. Mutual Online System for Teaching & Learning (MOST)」同上, 24-25.
- ・田口真奈・松下佳代 2016.3 「Ⅵ. 国際連携 1. 国際シンポジウム:『MOOCは大学教育をどのように進化させるのか』」同上, 28.
- ・飯吉透・田口真奈・酒井博之 2016.3 「Ⅷ. 産学連携 2. 富士通株式会社との共同研究」同上, 36.

### 【学会発表】

- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・重田勝介・田口真奈・飯吉透 2015.9.21 「悉皆調査を基にした日本の大学のモバイル活用先進校の特徴—ICT活用実施状況に着目して」日本教育工学会第31回全国大会, 電気通信大学
- ・香西佳美・田口真奈 2015.9.21 「医療教育分野のシミュレーションスペシャリスト育成における課題」日本教育工学会第31回全国大会, 電気通信大学
- ・田口真奈・酒井博之・岡本雅子・飯吉透 2015.9.21 「大学における授業改善のためのアイデア集積サイトMOS宝の開発」日本教育工学会第31回大会, 電気通信大学
- ・Sadehvandi, N., Sakai, H., Taguchi, M., & Iiyoshi, T. 2015.9.22 An Analysis of Students' Perception of Peer Assessment Implications for future MOOC courses. 日本教育工学会第31回全国大会, 電気通信大学
- ・Goto, T., Taguchi, M., & Sadehvandi, N. 2015.9.24 Economic inequality and the motivation for learning in MOOC: A study of "The Chemistry of Life" course learners. The 79th Annual Convention of the Japanese Psychological Association, Nagoya Congress Center, Aichi, Japan.
- ・田口真奈 2016.3.18 「MOSTが育てる実践コミュニティ——実践の学び合いを通じ、明日からの授業の推進力に——」第22回大学教育研究フォーラム(参加者企画セッション, 話題提供), 京都大学

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）
- ・「高等教育システム演習」（教育学研究科，前期）
- ・「高等教育文献講読演習」（教育学研究科，前期）
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」（教育学研究科，後期）

## 3. その他活動

### 【学内委員】

- ・京都大学教育学研究科・学生委員

### 【社会活動】

- ・日本教育工学会 編集委員
- ・日本教育工学会 評議員

### 【講演・シンポジウムなど】

- ・田口真奈 2015.4.24 「X-academy 第1回『大学との出会い～京大での学問を始めるにあたって～』」京大生協 X-academy, 京都大学時計台記念館
- ・田口真奈 2015.9.30 「アクティブラーニングを促す授業デザイン」舞鶴高等専門学校 FD・ICD 部会，舞鶴高等専門学校
- ・田口真奈 2015.11.18 「コンセプトマップを用いたディープ・アクティブラーニングの試み」弘前大学人文学部 FD 講演会，弘前大学
- ・田口真奈 2015.11.26 「授業改善からカリキュラム改善へーコースポートフォリオの活用を例に一」大阪成蹊短期大学 FD 研修会，大阪成蹊短期大学
- ・田口真奈 2015.12.4 「アクティブラーニングについて考える」関西工学教育協会高専部会秋季研修セミナー，阪急ターミナルビル

## 酒井 博之（准教授）

### 1. 研究業績

#### 【論文】

- ・酒井博之・辻靖彦・稲葉利江子 2016.1 「高等教育における ICT 活用に関する大学規模による分析」『日本教育工学会論文誌』第 39 巻増刊号，69-72。（査読あり）

#### 【その他の著作物】

（報告書）

- ・酒井博之 2015.6 関西地区 FD 連絡協議会第 8 回総会「FD 活動報告会 2015」，関西地区 FD 連絡協議会広報ワーキンググループ編（編集責任者）（PDF 版）

#### 【学会発表】

- ・重田勝介・酒井博之・辻靖彦・稲葉利江子 2015.7 「高等教育機関等における ICT 利活用調査から見えた現状と課題」日本教育工学会研究会，北星学園大学
- ・辻靖彦・稲葉利江子・酒井博之・重田勝介・田口真奈・飯吉透 2015.9 「悉皆調査を基にした日本の大学のモバイル活用先進校の特徴—ICT 活用実施状況に着目して—」日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集，電気通信大学（東京）
- ・田口真奈・酒井博之・岡本雅子・飯吉透 2015.9 「大学における授業改善のためのアイデア集積サイト MOS 宝の開発」日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集，電気通信大学（東京）
- ・Sadehvandi, N., Sakai, H., Taguchi, M., & Iiyoshi, T. 2015.9 An Analysis of Students' Perception of Peer Assessment Implications for future MOOC courses. 日本教育工学会第 31 回全国大会講演論文集，電気通信大学（東京）
- ・酒井博之 2016.3 「MOOC は大学教育をどう変えるのか，MOOC で切り開く教育の未来—KyotoUx の世界征服計画」第



22 回大学教育研究フォーラム (参加者企画セッション, 話題提供), 409-410, 京都大学

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ①全学共通教育

・「音響心理学概論」(前期)

#### ③大学院教育

・「高等教育開発論研究 A・B」(教育学研究科, 前・後期, 共同)

・「高等教育開発論基礎」(教育学研究科, 前期, リレー講義)

・「高等教育システム演習」(教育学研究科, 前期)

・「高等教育文献講読演習」(教育学研究科, 前期)

## 3. その他の活動

### 【社会活動】

・大学 ICT 推進協議会 研究員 (2015.4.1～)

### 【講演】

・酒井博之 2015.8.8 「大学教育における ICT 利用—京都大学を事例に—」電子工学を活用した授業: 英語教育の多様性, 日本学術振興会学術研究助成基金基盤研究 C (代表: 村上裕美 24520687) 主催, 日本メディア英語学会第 120 回西日本地区例会, 日本リメディア教育学会関西支部会セミナー共催, 関西外国語大学中宮キャンパス

・飯吉透・酒井博之 2016.1.21 「ICT を利用した教育イノベーション戦略—MOOC の事例—」理学研究科 FD, 京都大学理学研究科 1 号館

## 山田 剛史 (准教授)

### 1. 研究業績

#### 【論文】

・山田剛史 2015.6 「大学教育の実践的課題解決に向けて, FD 担当者はどのようにアプローチしてきたのか—FD 担当者の生態と可能性—」『大学教育学会誌』第 37 巻第 1 号, 55-59.

・山田剛史 2016.3 「準正課教育を活かして, カリキュラムを広くとらえよう」『看護教育』第 57 巻第 3 号, 168-174.

#### 【その他の著作物】

・山田剛史 2016.1 「大学教育は学びと成長を促進し, 社会生活を支えてくれるのか」ベネッセ教育総合研究所, 教育フォーカス [特集 13] 大学での学びと成長—卒業生の観点から振り返る— ([http://berd.benesse.jp/feature/focus/13-learn\\_growth/activity1/](http://berd.benesse.jp/feature/focus/13-learn_growth/activity1/))

・鳥居朋子・岡田有司・川那部隆司・山田剛史 2016.1 「共通教育の質保証のためのマネジメントのティップス Ver. 1」 (<http://daigakukyoiku-gakkai.org/site/wp-content/uploads/2016/01/c68ce0840ae3ff86f65f21dfc31a8b43.pdf>)

・Tomoko Torii, Yuji Okada, Takashi Kawanabe, & Tsuyoshi Yamada 2016.1 “Management Tips for Quality Assurance in General Education Ver. 1.0”, Website of Japan Association for College and University Education. ([http://daigakukyoiku-gakkai.org/site/wp-content/uploads/2016/04/JACUEmgmntTipsMar16-2\\_preface\\_rev.pdf](http://daigakukyoiku-gakkai.org/site/wp-content/uploads/2016/04/JACUEmgmntTipsMar16-2_preface_rev.pdf))

・山田剛史 2016.3 「[特集] 大学教育と学生エンゲージメント: 他者との密接な関係性の中での最適な主体性の発揮が成長を促す」『ガイドライン (河合塾)』2016 年 4・5 月号, 47-49.

#### (報告書)

・松下佳代・山田剛史 2016.3 「Ⅱ. 教育制度改革支援 2. 大学院カリキュラムの可視化」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2015』, 4-5.

・山田剛史 2016.3 「Ⅱ. 教育制度改革支援 3. 科目ナンバリング制度」同上, 6-7.

・山田剛史・溝上慎一 2016.3 「Ⅴ. 教学 IR」同上, 26-27.

### 【学会発表】

- ・山田剛史 2016.3.18 「指定討論」清水栄子・安部有紀子・中井俊樹・小林忠資（参加者企画セッション）「教育改善に向けてデータをどのように共有できるのか」第22回大学教育研究フォーラム，京都大学。

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）
- ・「高等教育研究法 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」（教育学研究科，後期）

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・教育学研究科教務委員
- ・FD 研究検討委員会委員

### 【社会活動】

- ・高等教育質保証学会評議員
- ・大学教育学会代議員
- ・大学教育学会ウェブサイト管理運営委員会委員
- ・大学情報・機関調査研究集会プログラム委員
- ・IIAI International Conference on Institutional Research and Institutional Management (IIAI IRIM) Program Committee
- ・文部科学省大学改革推進補助事業「大学教育再生加速プログラム委員会」専門委員
- ・ベネッセ教育総合研究所「大学での学びと成長に関する研究会」委員
- ・大学コンソーシアム京都「FD フォーラム企画検討委員会」委員

### 【講演・研修】

#### （学内）

- ・松下佳代・山田剛史 2015.7.29 「大学院カリキュラムの可視化に向けて」平成27年度教育制度委員会「大学院カリキュラムの可視化」勉強会 講師
- ・山田剛史 2015.9.17 「効果的な授業評価アンケートの活用方法」文学研究科 FD 研修会 講師
- ・山田剛史 2015.9.25 「京大生の学習のアセスメント～学生の『自学自習』を促すために～」2015年度京都大学新任教員教育セミナー 講師
- ・山田剛史 2015.10.20 「コース・ナンバリングの意義と活用方法～ Mobility, Accessibility, & Quality Enhancement ～」教育制度委員会 WG2 報告

#### （学外）

- ・山田剛史 2015.4.27 「アクティブ・ラーニングは大学教育をどのように革新するのか」NPO 法人「大学の明日を考える会」大学経営実務講座 講師
- ・山田剛史 2015.5.29 「教育の内部質保証の文脈から授業アンケートの在り方を再考する」株式会社「教育ソフトウェア」大学 FD 学修会 2015 講師
- ・山田剛史 2015.6.18 「高等教育改革のグランドデザインとストーリー化」京都文教大学 FD 研修会 講師
- ・山田剛史 2015.7.27 「学生の学びと成長を育む『教育力』とは何か」神戸常盤大学 FD 研修会 講師
- ・山田剛史 2015.8.25 「アクティブラーニング・ワークショップー21世紀社会を生きる若者のためにー」東山中学・高等学校／コアネット教育総合研究所主催プログラム 講師
- ・山田剛史 2015.9.9 「大学生の学びと成長を促進するために何が出来るかー高等教育質保証の実践的展開に関する各種データを踏まえてー」関西外国語大学第6回 FD 講演会 講師

- ・ 山田剛史 2015.9.16 「アクティブラーニングの実践的課題と効果的活用法」帝塚山大学 FD フォーラム 講師
- ・ 山田剛史 2015.9.24 「学生の学びを深化させるための教学 IR の在り方について」香川大学教学 IR 講演会 講師
- ・ 山田剛史 2015.10.3 「学生の学習成果を高めるためのカリキュラムの体系化とその可視化」鹿児島大学 FD・SD 合同フォーラム 講師・パネリスト
- ・ 山田剛史 2015.10.13 「アクティブラーニング・ワークショップ—アクティブラーニング型授業をデザインする—」三田学園中学・高等学校 講師
- ・ 山田剛史 2015.10.27 「探究学習のループリックスに関する指導・助言」島根県立隠岐島前高等学校
- ・ 山田剛史 2015.12.19 「学生の主体的な学びを促すためのアクティブラーニング」日本設計工学会関西支部第 181 回研究会（大阪電気通信大学）講師
- ・ 山田剛史 2016.1.14 「学びを動機づけ、学習規律の指針を与え、“伸びしろ”を実感させる学習成果」追手門学院大学 FD 講演会 講師
- ・ 山田剛史 2016.1.27 「学校から社会へのトランジションとアクティブラーニング」大阪教育大学 FD シンポジウム 講師・パネリスト
- ・ 山田剛史 2016.2.8 「学習成果に基づく組織的な教育改革・改善をどのように進めるか」愛知医療学院短期大学 FD・SD 研修会 講師
- ・ 山田剛史 2016.2.16 「高等教育の質保証と教育実践の接続～学生の学びと成長を促すための方法とは～」山梨県立大学全学 FD 研修会 講師
- ・ 山田剛史 2016.2.18 「学生が主体的に学ぶ授業をどのようにデザインし実践するか」東京家政学院大学 FD・SD 講演会 講師
- ・ 山田剛史 2016.2.19 「教学 IR の実質化に向けて—誰が、何を、どのように進めるのか—」第 9 回 EMIR 勉強会（龍谷大学深草キャンパス）講師
- ・ 山田剛史・コアネット教育総合研究所 2016.2.27 中学・高等学校教員のためのアクティブラーニング実践講座（CIVI 研修センター新大阪東）監修・講師
- ・ 山田剛史 2016.3.1 「ループリックスと教学 IR・学修成果の測定」文京学院大学全学 FD・SD 研修会 講師
- ・ 山田剛史 2016.3.2 「カリキュラムの体系化と可視化」6 大学合同 FD・SD 研修会（学習院大学）講師
- ・ 山田剛史 2016.3.5 大学コンソーシアム京都主催シンポジウム「大学教育を再考する～イマドキから見えるカタチ～」2015 年度第 21 回 FD フォーラム（京都外国語大学）企画・コーディネーター
- ・ 山田剛史 2016.3.14 「学習成果アセスメントに基づく組織的な教育改善をどのように進めるか」名城大学 FD 学習会 講師

## 田中 一孝（特定助教）

### 1. 研究業績

#### 【その他の著作物】

（報告書）

- ・ 酒井博之・田口真奈・奥本素子・田中一孝・岡本雅子・後藤崇志 2016.3 「大規模オープンオンライン講義（MOOC）」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2015』, 19-22.

#### 【学会発表】

- ・ 田中一孝 2015.10.24 「哲学系分野における学生はどのような『知識』・『技能』・『能力』を身につけるべきか—海外諸地域における『チューニング』の取り組みに着目して」第 68 回関西哲学会大会、京都大学
- ・ 田中一孝 2016.3.18 「MOOC 制作の現在」第 22 回大学教育研究フォーラム、京都大学
- ・ 田中一孝 2016.3.26 「プラトンとミーメーシス」古代哲学フォーラム第 45 回例会、大学コンソーシアム京都

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ①全学共通教育

・「人文学入門」（文学部，後期）

#### ③大学院教育

・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）

・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）

・研究科横断型教育プログラム「大学で教えるということ」（教育学研究科，後期）

## 3. その他の活動

### 【講演・シンポジウムなど】

・田中一孝 2016.3.3 「哲学の学習成果とは何か」高等教育制作セミナー（7）哲学教育研究会キックオフ・ミーティング  
兼研究会，霞山会館

## 第二部門（教育メディア研究開発部門）

### 土佐 尚子（教授）兼

#### 1. 研究業績

##### 【著書】

・土佐尚子 2015.5 「TOSA RIMPA」淡交社

・Nakatsu, R., Tosa, N., Rauterberg, M., & Xuan, W. 2016.1 Entertainment, Culture, and Media Art. In Nakatsu, R., Rauterberg, M., & Ciancarini, P. (Eds.). 2016.8. Handbook of Digital Games and Entertainment Technologies. Singapore: Springer Singapore (Online)

##### 【学会発表】

・Tosa, N., Nakatsu, R., Yunian, P., & Ogata, K. 2015.10.17 Projection Mapping Celebrating RIMPA 400th Anniversary. International Conference on Culture and Computing (Culture and Computing 2015), Kyoto University, Japan.

・Yunian, P., & Tosa, N. 2015.10.17 New Approach of Cultural Aesthetic Using Sound and Image. International Conference on Culture and Computing (Culture and Computing 2015), Kyoto University, Japan.

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ①全学共通教育

・「メディアアート（映画監督養成講座）」（前期）

・「Art, Culture and Technology」（後期）

#### ③大学院教育

・「カルチュラルコンピューティング」（情報学研究科・後期）

### 【学外】

・Open Education Consortium Bard member

・ジャパンオープンコースウェア幹事

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

・学術情報メディアセンター コンテンツ作成共同研究企画委員会委員

### 【社会活動】

・日本バーチャルリアリティ学会評議委員

・Culture and Computing 国際会議議長

- ・日本芸術科学会監事
- ・京菓子展「手のひらの自然」デザイン公募 審査員

#### 【講演・シンポジウムなど】

- ・山極壽一・土佐尚子・茂山千三郎 2015.4.24 「第1回『京大おもろトーク：アートな京大を目指して』～垣根を越えてみまひょか?」(パネリスト), 京都大学百周年時計台記念館
- ・土佐尚子 2015.5.29 “Digital creative learning” Invited Lecture at Hangzhou Normal University.
- ・土佐尚子 2015.6.7 “Having an artistic mind will change your life!” Speaker at TEDx Kyoto University, Kyoto University, Japan.
- ・土佐尚子 2015.7.3 「琳派の最新映像表現：TOSA RIMPA 裸眼で見えない自然界の美（液体窒素を使った芸術に挑む）」講演, 京都大学学術情報メディアセンター
- ・土佐尚子 2015.7.12 「琳派の最新映像表現：自然界の神の手による不可視的現象を捉えた土佐琳派ライブ」講演, 京都国立博物館
- ・土佐尚子 2015.7.23 「電気自動車の時代：人々はその時間をどう過ごすのか」講演, 自動車技術会エレクトロニクス部門委員会, 首都大学東京秋葉原サテライトキャンパス
- ・土佐尚子 2015.7.30 「第2回『京大おもろトーク：アートな京大を目指して』～京大解体」(オーガナイザー), 京都大学百周年時計台記念館
- ・土佐尚子 2015.8.19 「高校生のための創造力」講演 東進ハイスクール「大学学部研究会」, TKP ガーデンシティ品川
- ・土佐尚子 2015.8.29 「現代琳派の舞台裏」講演, NHK 京都放送局
- ・土佐尚子・植島啓司 2015.9.24 「土佐琳派」対談, 代官山蔦屋
- ・土佐尚子 2015.10.4 「芸術と科学」講演, 楽天東京本社
- ・土佐尚子 2015.10.6 「アート&テクノロジー教育」特別講演, 大阪芸術大学
- ・土佐尚子 2015.10.30 「芸術教育とプロジェクトマッピング」講演, 福岡アジア美術館
- ・土佐尚子 2015.11.7 Symposium Research Institute of Korean Dance 講演, Hanyang University, 韓国
- ・土佐尚子 2015.11.25 「第3回『京大おもろトーク：アートな京大を目指して』～アートゼロの領域」(オーガナイザー), 京都大学百周年時計台記念館
- ・土佐尚子・植島啓司 2016.1.28 芸術と宗教学と教育に関する対談, 京都丸善
- ・土佐尚子 2016.3.21 「第4回『京大おもろトーク：アートな京大を目指して』～ちょっとぐらい, ええやないか」(司会・パネルディスカッション), 京都大学百周年時計台記念館

### 奥本 素子 (特定准教授)

#### 1. 研究業績

##### 【論文】

- ・奥本素子・岩瀬峰代 2015.12 「科学コミュニケーションにおけるアートを用いた表現の印象・伝達効果の調査・分析」『科学教育研究』第39巻第4号, 359-366.
- ・坂東隆宏・福原舞・小菅晃太郎・鈴木昂太・笠嗣瑠・奥本素子 2015.12 「科学への関心が低い層を対象とした Web サイト『研究者時計』の作成・公開結果：楽しく科学者を紹介する試みについて」『科学コミュニケーション』第18号, 17-30.
- ・奥本素子・岩瀬峰代 2016.3 「長期の協調学習において協調的議論はどのように生まれるのか：PBLにおけるチーム活動の質的分析」『日本教育工学会論文誌』第39巻第4号, 271-282.

##### 【学会発表】

- ・奥本素子 2015.9.21 「サイエンスコミュニケーションにおける意味の生成」日本教育工学会第31回全国大会, 電気通信大学

## 2. 教育活動

### 【学内】

#### ③大学院教育

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・国際交流委員会委員

### 【社会活動】

- ・科学教育学会 若手活性化委員会委員

### 【講演】

- ・奥本素子 2015.11.15 「知識と感じる心の伝承」サイエンスアゴラ 2015「研究 100 連発」5 セッション主催／ニコニコ学会 β，科学技術振興機構（JST）

## 森村 吉貴（特定准教授）（2016 年 3 月）

### 1. 研究業績

#### 【学会発表】

- ・中塚智尋・森村吉貴・飯山将晃・村上正行・美濃導彦 2016.3.19 「ペンストロークの時間間隔を用いた答案の解答停滞箇所の検出」教育システム情報学会（JSiSE）2015 年度特集論文研究会，東京工芸大学

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・情報環境機構将来構想委員会
- ・情報環境機構運営検討委員会

### 【社会活動】

- ・一般社団法人社会対話技術研究所理事

## 岡本 雅子（特定助教）

### 1. 研究業績

#### 【論文】

- ・岡本雅子 2015.6 「はじめてのプログラミングとつまずき」『情報処理』第 56 巻第 6 号，580-583.

#### 【その他の著作物】

（報告書）

- ・酒井博之・田口真奈・奥本素子・田中一孝・岡本雅子・後藤崇志 2015.3 「ICT の教育的活用」京都大学高等教育研究開発推進センター『CPEHE Annual Report 2015』，16-25.

#### 【その他の著作物】

- ・田口真奈・酒井博之・岡本雅子・飯吉透 2015.9 「大学における授業改善のためのアイデア集積サイト MOS 宝の開発」『日本教育工学会全国大会講演論文集』，171-172.

## 2. 教育活動

### 【学内】

- ・「高等教育開発論研究 A・B」（教育学研究科，前・後期）
- ・「高等教育開発論基礎」（教育学研究科，前期）



### 3. その他の活動

#### 【学内委員】

・情報環境機構 KUINS 利用負担金検討委員会 委員

#### 【社会活動】

・情報処理学会コンピュータと教育研究会運営委員

### 後藤 崇志 (特定助教)

#### 1. 研究業績

##### 【著書】

(分担執筆)

・後藤崇志 2016.2 「メンターの振り返り」内田伸子・板倉昭二 (編)『高校生のための心理学講座—こころの不思議を解き明かそう』誠信書房, 144-145.

##### 【論文】

・後藤崇志・石橋優也・梶村昇吾・岡隆之介・楠見孝 2015.4 「日本版自由意志・決定論信念尺度の作成」『心理学研究』第 86 号, 32-41.

・後藤崇志・工藤充・加納圭 2015.7 「パブリックエンゲージメント参加者層の多様性評価手法の探索:『科学・技術への関与度』と『政策への関与度』の観点から」『科学技術コミュニケーション』第 17 号, 3-19.

##### 【学会発表】

・後藤崇志・中西一雄・加納圭 2015.8.21 「理科における『自律的な学び』を測定する心理尺度の作成」日本パーソナリティ心理学会第 24 回大会, 北海道教育大学札幌校.

・後藤崇志・市村賢士郎・岡隆之介・河村悠太・楠見孝 2015.8.28 「ジェンダーステレオタイプによる性格特性語の虚再認—社会的認知の教材作成に向けた予備的検討—」日本教育心理学会第 57 回総会, 新潟コンベンションセンター.

・尾崎由佳・後藤崇志・小林麻衣・沓澤岳 2015.9.23 「セルフコントロール尺度短縮版の邦訳および信頼性・妥当性の検討」日本心理学会第 79 回大会, 名古屋国際会議場.

・Himichi, T., Osanai, H., Goto, T., Fujita, H., Kawamura, Y., Davis, M. H., & Nomura, M. 2015.9.23 Development of the Interpersonal Reactivity Index in Japanese. The 79th Annual Convention of the Japanese Psychological Association, Nagoya Congress Center, Aichi, Japan.

・Goto, T., Taguchi, M., & Sadehvandi, N. 2015.9.24 Economic inequality and the motivation for learning in MOOC: A study of “The Chemistry of Life” course learners. The 79th Annual Convention of the Japanese Psychological Association, Nagoya Congress Center, Aichi, Japan.

・金子迪大・湊麻由佳・沓澤岳・尾崎由佳・後藤崇志・倉矢匠 2015.10.31 「心理的 well-being の on-line 測定の試みと妥当性の検討」日本社会心理学会第 56 回大会, 東京女子大学.

・尾崎由佳・後藤崇志・倉矢匠・金子迪大・湊麻由佳・沓澤岳 2015.10.31 「日常生活における接近的／回避的欲望：経験頻度と規定因の検討」日本社会心理学会第 56 回大会, 東京女子大学.

・後藤崇志・白砂優希・柏本拓哉・松本大輝・日道俊之・楠見孝 2015.10.31 「競争的意思決定での勝敗フィードバックの有無と行動のランダムさ」日本社会心理学会第 56 回大会, 東京女子大学.

・Kaneko, M., Minato, M., Kutsuzawa, G., Ozaki, Y., Goto, T., & Kuraya, T. 2016.1.28 Affective reactions to experiences of desires in everyday life. The 17th Annual Meeting of Society for Personality and Social Psychology, San Diego Convention Center, San Diego, USA.

・Ozaki, Y., Goto, T., Kuraya, T., Kaneko, M., Minato, M., & Kutsuzawa, G. 2016.1.30 “Want-to” desires and “Have-to” desires in everyday life: Investigating frequency, intensity and consequences. The 17th Annual Meeting of Society for Personality and Social Psychology, San Diego Convention Center, San Diego, USA.

・後藤崇志 2016.3.18 「受講者データの分析は MOOC の活用にどのように貢献できるか」第 22 回大学教育研究フォーラム (参加者企画セッション「MOOC で切り開く教育の未来—KyotoUx の世界征服計画」), 京都大学



## 2. 教育活動

### 【学外】

- ・ 関西大学社会安全学部「社会安全学実習（社会心理実験）」（前期）
- ・ 大阪成蹊大学芸術学部「現代科学論」（前期）

## 3. その他の活動

### 【学内委員】

- ・ 吉田南構内防火・防災委員会 委員

### 【社会活動】

- ・ 日本パーソナリティ心理学会第 24 回大会「2015 年度ヤングサイコロジストプログラム」実行委員長
- ・ 日本パーソナリティ心理学会 経常的研究交流委員会 委員（2015.8～）

### 【講演・シンポジウムなど】

- ・ 後藤崇志 2015.9.23 「経験サンプリング法による心理学研究の新たな展開：スマートフォンを介して“日常”を探る」（共同企画・司会），日本心理学会第 79 回大会シンポジウム，名古屋国際会議場.